

江南市廃棄物減量等推進協議会 令和元年度第2回会議 会議録(概要)

●日時 令和元年10月25日(金) 午後2時00分～午後4時00分

●場所 江南市役所3階 第3委員会室

●出席委員(17名)

会長 岩井 喜美子	副会長 石井 進
委員 横山 史明	委員 西部 茂夫
委員 武田 ともみ	委員 多湖 直希
委員 古田 みちよ	委員 山田 沖勝
委員 小林 弘子	委員 古田 一二三
委員 望月 晴夫	委員 藤田 泰雄
委員 黒岩 弘子	委員 高木 則雄
委員 苅谷 有朗	委員 松浦 大介
委員 堀場 敏之	

●欠席委員(13名)

委員 高田 和明	委員 藤澤 薫
委員 岩田 節明	委員 川合 龍司
委員 間宮 孝博	委員 関 英司
委員 水野 祐助	委員 秦 公輝
委員 富山 賢二	委員 八木 幸男
委員 田中 義和	委員 馬場 智紀
委員 政木 幸吉	

●事務局

環境課長 阿部 一郎  
環境課 主幹 牛尾 和司  
環境課副主幹 横川 幸哉  
環境課 主任 米嵩 浩之  
環境課 書記 高田 奈美

●会議経過

○事務局

それでは、定刻となりましたので、ただいまより令和元年度第2回江南市廃棄物減量等推進協議会を始めます。

○会長

<会長あいさつ>

■議題①「江南市ごみ処理基本計画(案)」について

それでは、議題に入らせていただきます。

議題①の「江南市ごみ処理基本計画（案）」について事務局より説明をお願いします。

○事務局

<事務局説明>

○会長

ただ今、江南市ごみ処理基本計画（案）について事務局より説明がありましたが、ご質問等ございましたら、ご発言をお願いします。

○委員

4 ページの最後、生ごみの資源化への取り組みを要請するとあるが、江南市単独では難しいと思う。近隣2市2町で生ごみを集めて回収して、それを培養処理して堆肥化する施設を作るなど何か方策は考えているか。

○事務局

事業系生ごみを集めて堆肥化するという意見でよろしいか。

○委員

生ごみ排出量は事業系よりも家庭系がほとんどだと思われる。それに対して資源化することの取り組みとして目標はいいが、実現することに対して具体的な計画や案はできているのか。

○事務局

現段階ではそこまで進んでいない。

○委員

わかりました。

○委員

4 ページの「生ごみの資源化への取り組みを要請する」は事業者へ対してという意味ではないか。

○委員

事業系生ごみの量と家庭系生ごみ量の割合は、事業系の方が少ないと思う。

## ○委員

事業系生ごみの資源化の取り組みは、各事業者はいろいろ行っている。例えば一番簡単な方法はコンポストである。コンポストを作って、長い間少し加温する。発酵する時に熱が出るため、自然に発酵熱で乾燥して、それを肥料などへ再利用する。各大手コンビニエンスストアでも行っている。食品製造業では大規模な施設で発酵ガスを発生させて燃料を取り出す取り組みもある。この取り組みで一番効果的なことは水分が出るため量が減る。水分量が減って有機汚濁の可能性も減る。事業者は色々やっていると思う。

今回の件はこういった取り組みがもっと増えるよう市から事業者へ事業系生ごみについてできるだけ自社処理をするように、お願いするということによろしいか。

## ○事務局

お見込みのとおりです。

## ○委員

生ごみの資源化への取り組みを要請するとしても、全ての企業がそれに対応できるのか、年間で1トンごみを出す企業と200トン出す企業では規模が違いすぎる。まず事業系より家庭ごみの資源化をもっと考えるべきだと思う。

## ○委員

事業系生ごみの排出者というのは、事業者全てを指すのか、それともスーパーなどの食品を扱っている事業者か。

## ○委員

廃棄物は、産業廃棄物と一般廃棄物と法律上分かれており、産業廃棄物は事業者の責任において処理しなければならない。産業廃棄物は法律で指定しているため産業廃棄物以外は全て一般廃棄物となり、これをいわゆる事業系一般廃棄物と言う。

スーパーなどでも燃えるごみや厨房施設の食品残渣などは事業系一般廃棄物になる。これらの処理は一般廃棄物処理業の許可を答えた業者に委託するか、自社処理するか、二つの方法がある。

## ○委員

食品を扱っている事業者と、家庭ごみに近いような少量の生ごみしか出ないところも含まれるのか。

○委員

個々の企業で、資源化への取組を行うことは大規模な企業でないと難しい。江南市全体で企業から回収して、1つの施設で対応するというなら企業側にもメリットがあって分かるが、個々に要請して対応してくれるのか。

○委員

今の意見も分かりますが、各企業で排出するごみは自社の責任で処理することが前提となるため、事業系生ごみもできる限り自社処理して減量に取り組むように、市が企業へ要請するという意味と思われる。

○委員

企業が、自社で生ごみ処理したとして処理したものをどう有効利用するか、という後のことも考えなければ、要請しても難しいと思う。先ほどの意見は企業も個人もまとめて2市2町で生ごみを集めて資源化する、そういうシステムを作れば減ると思う。

○事務局

2市2町で事業系生ごみを資源化していくという取組みは今のところ将来的にも考えていない。事業系生ごみをただ排出するだけでなく、少しでも資源化を進めていくように要請をする。すでに大手スーパーや多くのコンビニエンスストアでは生ごみを堆肥化するなど資源化を行っている。そういった企業をもっと拡大していくように要請をするということ。今回の改訂版を作る前のごみ処理基本計画にも記載があるので、今後も継続していく内容になる。個人が排出する生ごみについては生ごみ処理機の啓発をしている。コンポストや電動生ごみ処理機など補助金を出しているため家庭系生ごみの堆肥化にも役立つと思われる。

○委員

紙類の減量の観点において、小学校と中学校の廃品回収の開催日程が学校間で調整されていないため日程によっては排出機会が偏っている現状がある。以前に学校側に日程協議を依頼したが、

それぞれの都合もあって難しいとの回答であった。市が調整を図ることは可能か。

○委員

事務局どうか。

○事務局

廃品回収自体が市の行事ではなく、行う回数や頻度も各団体で様々である。廃品回収で得た利益が団体の資金となることや、小中学校や子ども会が主体となっていて行っている行事であるため調整は難しい状況と考えている。

○委員

もし調整できれば考えて欲しいと、意見が出ているということだけは教育委員会へお伝えください。

○事務局

わかりました。

○委員

資源ごみ回収日の当番制のやり方について、区によってはボランティア分別指導員が多く在籍しており、ローテーションを組み行っていると思うが、自分の区では役員たちに負担がかかっている。資源ごみ回収日に役員がいつも出てくるのは負担が大きい。何かいい方法があれば、来年度以降改善できるように努めたいと思っている。

○委員

私の区は700世帯くらいあるため年1～2回出るのみである。6時～7時まで、7時～8時まで分かれてやっている。世帯数がある区はこうして役割分担出来ると思うが、高齢化社会といわれる昨今ではこういった当番制も難しくなっている。

どこかの区はシルバー人材センターに委託してやっていると聞いた。

○委員

シルバー人材センターへ委託していたのはうちの区である。しかし役員たちは当番に出るが、他の人が出ないため、分別に対する意識が薄れてしまった。各家庭の人が分別して資源ごみの収

集のときに適正に容器や場所に置いてくれば応援する人は最小限で済むが、委託に頼んだからと任せっきりでは、結局役員に負担がかかってくる。初めは区民の負担も減っていいと思ったが、長い眼で見ると効果としてはわからない。

○委員

高齢者と子育て世代の若い人は立ち当番が難しい。

小牧・岩倉は新しいゴミ処理場ができ、曜日毎に指定ごみ袋で可燃ごみと不燃物も一定の場所に出せばいいというシステムとなっている。江南市も新しいゴミ処理場ができると同時に、今までの立ち当番の問題が解決できるシステムにしてほしいと思う。

○委員

私の区は300世帯ほどあるが、6時半～8時半までを各30分交代、班単位でローテーションしている。集合住宅などはあまり協力的でない場合もあるが、当番の方に分別を教えていると当番をしたことで分別がよく理解できて良かったという意見もある。30分ですと、6時半～7時まで、7時～8時までと各々都合のいい時間帯を希望できるため対応しやすい。8割～9割の協力は得られている印象。

○委員

ありがとうございます。時間交代制であれば、高齢者でも子育て世代でも協力しやすい状況になると思う。

○委員

私の区も30分交代で行っている。当番も若い方が多い。

高齢者の方たちも「元気だったか」など声が多くあり、交流の場として地域のふれあいがある。特に困っている印象は無い。

○委員

分別指導員制度、を提案したのは実は私である。私の区では現在39人が指導員として活動しており4つの班に分かれて、スムーズに分別している。無理に役割をしている風景はない。

○委員

私の区は、班長が名簿を配付し、それに基づいて時間帯を決めている。若い方で働いている方は早い時間帯などに当番が組まれる。最近では世帯がだんだん増加し、1～2年に1回しか当番が回ってこない。いろんな方がみえますが、分別の手伝いをしたり、丁寧に教えてくれる分別指導員の方や役員の方が対応してくれるため、和気あいあいと行っている。

#### ○委員

江南団地は約3300戸あって、独居の高齢者や空き部屋も多く有りとても不規則な住宅の傾向になっています。当番については区長が1年分全部決める。当番全員で行うというのが原則。1年半に1回しか回ってこない当番なので仕事であっても有給を取ってください、と言うくらい。厳しいルールの方がしっかりやってもらえる。普段あまり顔を見ない隣近所の方ともコミュニケーションをとれ、何かの時のために顔がわかるということが大事。高齢な方で分別がわからなくても、なんとなく見られているというだけでも不法投棄が減るため助かる。

当番に出てこない人は外国の方が多いが、その家まで行って当番のカレンダーを4月に配付しているため「今日はお当番ですよ」と言いに行くこともある。

環境課から分別ビデオを借りてきて、勉強し、わかりにくい点は補足するという講習会もやっている。一番大変そうに見られている江南団地だがしっかりやっている。

#### ○委員

シルバー人材センターを入れたことによって区民のいわゆる資源ごみに対する熱、そういうものが全く消えてしまいました。改めて当番を依頼したところ、なぜ今までシルバー人材センターにお願いしていたのに、と大変苦労した。やはり当事者意識が消えてしまう。また、委員の方からコミュニケーションに対する意見をいただきましたが、それも無い。

#### ○委員

貴重なご意見ありがとうございました。それぞれの地区にそれぞれの問題があるでしょうが、区長はじめ、その地区の方で話し合いをしていい方法を考えているようです。

#### ■議題②「視察研修」について

#### ○会長

続いて、議題②「視察研修」について、事務局より説明をお願いします。

**事務局説明**

○会長

ただ今、視察研修について事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

<質疑特になし>

■議題③「環境フェスタ江南2019」について

○会長

続いて、議題③「環境フェスタ江南2019」について、事務局より説明をお願いします。

**事務局説明**

ただ今、環境フェスタ江南2019について事務局より説明がありましたが、ご質問等がございましたら、ご発言をお願いします。

○委員

クイズラリーの景品を渡す際に、どの企業・団体が提供した景品であるのかがわかりにくい。景品が4～5種類もありそれぞれどこが提供した物品なのかがはっきりしない。宣伝・広報のために協賛しているため、少しでも分かるようにしてほしい。

また、5つ景品があるなら1か所ではなく5箇所でそれらを配るということも提案したい。奥のブースに来場者が来てくれないのであれば、その場所で景品の1つを配るとなど、工夫できないか。

○会長

ありがとうございました。意見いただきましたので、来年に向けて実行委員会において決めていきたいと思えます。

続いて、議題④その他について事務局よりなにかありますか。

○事務局

事務局からは特にありません。

○委員

前回会議時に災害廃棄物処理計画についての議題があったが、台風19号による被害が連日のように騒がれている。テレビなどで災害廃棄物のことも取り上げられ、想定以上のごみ量が発生して処理が困難であると聞いた。

このような点から江南市における計画はそういった想定外に対応できる内容であるのか確認したい。

○会長

事務局お願いします。

○事務局

江南市で作成中の災害廃棄物処理計画は、愛知県災害廃棄物処理計画を基に、想定災害を「南海トラフ地震」として災害廃棄物処理を計画しているものです。実は、愛知県の計画では水害に対しての被害想定が記載されていないのが現状です。そのため江南市に水害が起きた際にどのくらいのごみが発生するか推計が難しいため計画に反映し辛い面がある。しかし、今回水害による被害が相次いだため、水害に対する被害想定が無い状態では難しい話になってくると考えるが、現在のところは愛知県が出している被害想定計画を参考に江南市は作成している、という答えになる。

○委員

江南市単独では被害想定が難しいという認識でよろしいか。例えば江南市から働きかけて県に要望するなどして、実際水害が起きた際に、想定外でした、とならないよう計画を進めてもらいたい。

○事務局

災害廃棄物処理計画自体は、災害によって発生した廃棄物を適正に処理するための計画であるため、地震か水害かに関わらず、適正処理の流れができるよう計画している。水害の被害想定ができていない場合に、何も出来ないというような計画ではない。

○会長

他にありますか。

○委員

消費生活展の会議の際に環境フェスタ及び消費生活展のポスターを宣伝のため各委員の裁量で掲示するようにした。もし、ポスターに余剰があるならこの会議の委員の方にも協力してもらいたい。

○事務局

ポスター数に限りがあるため、出来る範囲で対応したい。

○委員

すでに各町内等には配布済なのか。

○事務局

各地区には広報と同時に配布済です。

○委員

環境フェスタ実行員会で提案した、イベントPR用のぼり旗の件の進捗状況は。

○事務局

市役所の敷地内に現在産業フェスタののぼり旗が立ててあるため、産業フェスタが終了後、そのままその場所に、環境フェスタののぼり旗を開催までの1週間立てる予定でいます。新しくのぼり旗を作成する予算が無いため、以前から使用している当日用の旗を利用し、日付と場所を明記した札とともに設置したいと考えています。

○会長

ありがとうございます。その他、ご意見はございませんか

無いようですので、これをもちまして、第2回江南市廃棄物減量等推進協議会を終了させていただきます。

本日は、長時間にわたりご審議を賜り、ありがとうございました。